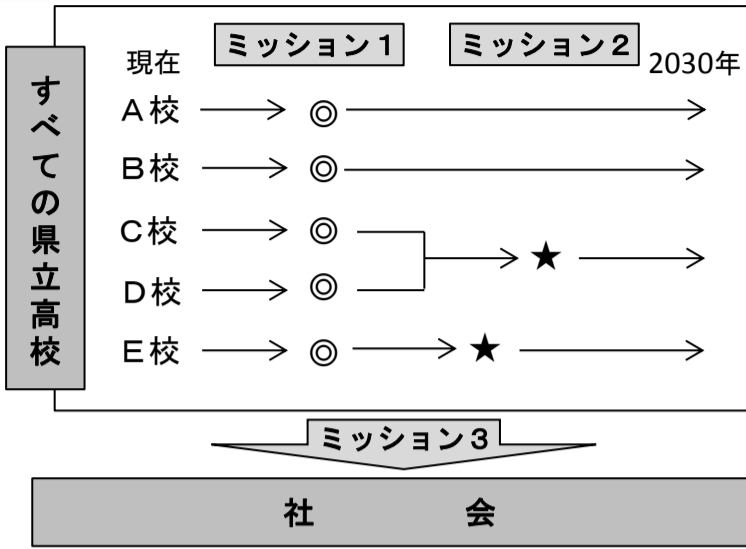


県立高校「学びの改革」の全体構造

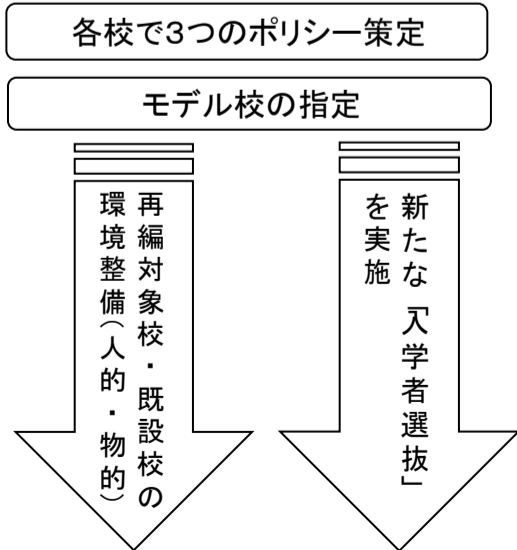
「学びの改革」3つのミッション

- ミッション1** ◎ <今、目の前にいる子ども達のために>
すべての高校で、新しい時代にふさわしい「新たな学び」に転換すること。
- ミッション2** ★ <これからの子ども達のために>
地域及び県全体の将来を見据えた「新しい学校」を創っていくこと。
- ミッション3** ← <子ども達だけでなく社会のために>
高校の改革だけに終わらず、社会にグッドインパクトを与えること。



「学びの改革」実現プロセス

想定時期	プロセス
2017年11月 (平成29年)	<p>「学びの改革 実施方針」策定に向けて 公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校の学びの内容、学び方がどう変わるのか ○どのような高校をどのように配置するのが望ましいか ○今後の進め方、スケジュール <p>◇意見交換実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域懇談会 ・産業界 ・PTA、中学校長会、高校校長会、大学 ・県と市町村との総合教育懇談会 ・総合教育会議 等 <p>H30.2 入学者選抜制度等検討委員会から報告書</p>
2018年3月 (平成30年)	<p>「学びの改革 実施方針(案)」策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな学びへの転換 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな学びへの転換を3つのポリシー(DP、CP、AP)*で示す。すべての高校で策定するための県の指針を提示。 ・入学者選抜制度改革の考え方 ○モデル校方式による改革の推進(検討例) <ul style="list-style-type: none"> - スーパー探究科設置校 - SGLH指定校 - 国際バカロレア導入検討校 等 ○改革を牽引する「新しい学校」の創設 ○全県配置構想案 <p>◇各種意見交換 → ◇パブリックコメント</p>
9月	<p>「学びの改革 実施方針」確定</p> <p>◇すべての地区で「地域協議会」を設置</p>
2020年3月 (平成32年)	<p>「再編・整備計画(一次分)」公表</p>
2021年3月 (平成33年)	<p>「再編・整備計画」確定</p>
2030年3月 (平成42年)	<p>「学びの改革」の完成</p>



長野県の高校教育が変わる 長野県が変わる

*注) DP (ディプロマ・ポリシー) : どのような力を付けて卒業させるのか
 CP (カリキュラム・ポリシー) : そのためにどのような教育をするのか
 AP (アドミッション・ポリシー) : どのような生徒の入学を望むのか